

## 授 業 概 要

授業のタイトル (科目名) こころとからだのしくみ I		授業の種類 (講義)・演習・実習)		授業担当者 山本 美穂 (実務経験有)	
授業の回数 15回	時間数(単位数) 30 時間 (2)	配当学年・時期 1年 前期	必修・選択 必修		
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>介護技術の根拠となる人体の構造や機能及び介護サービスの提供における安全への留意点や心理的側面への配慮について理解する学習とする。</p> <p>[授業全体の内容の概要]</p> <p>基礎的なこころとからだのしくみを教授する。生活行動（食事や身支度など）との関連を教授し、生活支援技術との連動を図る。</p> <p>[授業修了時の達成課題（到達目標）]</p> <p>介護実践に必要な観察力、判断力の基盤となる人間の心理、人体の構造と機能の基礎的な知識を理解することができる。</p>					
<p>[授業のテーマ・内容]</p> <p style="text-align: center;"><u>こころとからだのしくみ I</u></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 健康とは…基本的欲求、成長発達</li> <li>2 <u>こころのしくみの理解</u>…脳、感情のしくみ</li> <li>3 認知…適応のしくみ</li> <li>4 <u>からだのしくみの理解</u> 細胞～遺伝、脳～脊髄</li> <li>5 末梢神経～骨</li> <li>6 筋肉～感覚器</li> <li>7 呼吸器のしくみ</li> <li>8 循環器系のしくみ</li> <li>9 泌尿器系のしくみ、消化器</li> <li>10 消化器（肝臓、膵臓）</li> <li>11 身体の動き～加齢による機能低下</li> <li>12 身体の動き～筋肉、平衡能など</li> <li>13 振返り（健康～神経）</li> <li>14 振返り（神経～内臓～骨、筋）</li> <li>15 まとめと試験</li> </ol>					
[使用テキスト・参考文献] 最新介護福祉士養成講座 こころとからだのしくみ			中央法規		[単位認定の方法及び基準] (試験やレポートの評価基準など) 試験80%出席10%レポート10%